

平成30年度事業報告

1 基本方針

錦帯橋の世界遺産登録に向けて、県・市・関係団体が連携・協働して、錦帯橋の顕著な普遍的価値（OUV）及び真実性について、市民や県民はもとより、国内外の方と共有化する理解増進・情報発信の取組を展開する。

また、県、市及び関係団体それぞれが実施する施策等の総合調整を行う。

2 実施事業

(1) 啓発資材（英語版）の作成ほか

時期	[リーフレット英語版作成、日本語版増刷] 平成30年8月 [クリアファイル、フリクションボールペン、シンポジウム報告書] 平成31年3月
目的	錦帯橋の顕著な普遍的価値の理解増進・情報発信
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント等で配布する <li style="padding-left: 20px;">リーフレットの英語版の作成 5,000部 <li style="padding-left: 20px;">リーフレット日本語版の増刷 5,000部 <li style="padding-left: 20px;">クリアファイルの作製 4,000枚 <li style="padding-left: 20px;">フリクションボールペンの作製 1,500本 ・平成29年度実施錦帯橋シンポジウム報告書

(2) ホームページ（英語版）の制作

開設日	平成31年3月1日（金）
目的	錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会のホームページの英語版の制作
内容	登録にあたっては、錦帯橋が持つ価値や魅力などの国際理解を得る必要があることから、海外への積極的な情報発信の一環として実施
アドレス	http://kintaikyo-bridge.jp/en/

※ホームページ（日本語版）についても保守管理・更新を実施
 アドレス：<http://kintaikyo-bridge.jp/>

（３）錦帯橋世界遺産国際意見交換会の開催

日時	平成31年3月27日（水）13時30分～16時
場所	岩国国際観光ホテル
目的	国内外の専門家と連携した錦帯橋の顕著な普遍的価値及び真実性の検証
内容	国外から世界文化遺産の専門家を招聘し、国内専門家と錦帯橋の顕著な普遍的価値及び真実性に関する検証を行った 〔招聘者〕イコモス・パネル委員 ミシェル・コット氏 日本イコモス国内委員会委員長 岡田保良氏 錦帯橋世界文化遺産専門委員会委員長 小林一郎氏
参考	国際意見交換会の実施に先立ち、招聘者に提案書について理解を深めていただくために、現地説明及び提案書の内容の疑義に関する勉強会を実施した〈非公開〉 〔現地視察〕 日時：①平成31年3月26日（火）9時30分～13時 ②平成31年3月27日（水）9時30分～12時 場所：①錦帯橋、岩国徴古館（錦帯橋の設計図面）、吉川史料館（西湖遊覧志） ②錦帯橋備蓄林（倉谷山）、関戸倉庫、錦帯橋資料館予定地 〔勉強会〕 日時：平成31年3月26日（水）14時～16時30分 場所：岩国市役所 説明者：錦帯橋世界文化遺産専門委員会の伊東委員、腰原委員、依田委員、事務局ほか